

使用教科書		新数学Ⅰ 実教出版		
使用教材		新数学Ⅰ サブノート 実教出版		
指導内容 【年間授業計画】	科目 数学Ⅰ の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数	
4月	1章 数と式 1節 式の計算 1 文字式の決まり 2 整式	・ 中学校で既習の文字式のきまりなどが理解できる。 ・ 整式の基本事項の理解を深め、同類項を整理できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	3 整式の加法・減法 □	・ 減法では、括弧の外し方に注意するなど、整式の加法、減法を正しく理解し、計算することができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
	4 整式の乗法	・ 整式どうしのかけ算、特に指数法則、分配法則を正しく理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
5月	5 展開公式による展開	・ 乗法公式に則って式を正しく展開することができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	6 因数分解	・ 式の展開の逆の計算であることを理解し、整式をいくつかの整式の積の形で表すことができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
	2節 実数 1 実数	・ 四則演算の可能性について学び、数の範囲の拡張や実数の性質について理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	2 根号を含む式の計算	・ 根号を含む式の計算および分母の有理化をすることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
6月	3節 1次不等式 1 不等号と不等式 2 不等式の性質	・ 不等式をつくり、その意味を理解することができる。 ・ 数や式の大小関係を不等号や数直線を利用して表すことができる。 ・ 不等式を変形するときの基本的な性質を学ぶことができる。 ・ 両辺に負の数を掛けたり割ったりすると不等号の向きが変わることを理解し、不等式を解くことができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
	3 1次不等式 5 連立不等式 6 不等式の応用	・ 1次不等式の性質を理解し、1次不等式を解くことができる。 ・ 2つの不等式を共に満たす値の範囲を考えることができる。 ・ 不等式を利用して、身近な問題を解くことができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
	4章 集合と論証 2 命題と条件	・ 命題の真偽を集合を用いて調べることができる。また、逆の命題をつくり、その真偽を調べることができる。 ・ 必要、十分、必要十分条件について理解することができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
7月	3 逆・裏・対偶	・ 命題の逆・裏・対偶をつくることができ、またその性質を理解することができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
9月	2 2次関数のグラフ	・ 放物線の軸、頂点、凹凸等グラフを描く際に必要な情報を数式から読みとることができる。 ・ 平行移動の意味を理解し、その数式を表現することができる。 ・ 平方完成の計算方法とその可能性を理解し、グラフを描くことができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
	2 2次関数とそのグラフ	・ 放物線の軸、頂点、凹凸等グラフを描く際に必要な情報を数式から読みとることができる。 ・ 平行移動の意味を理解し、その数式を表現することができる。 ・ 平方完成の計算方法とその可能性を理解し、グラフを描くことができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
	3 2次関数の最大値・最小値	・ 2次関数のグラフを描いて、最大値・最小値を求めることができる。 ・ 定義域の有無により、最大値・最小値の算出法がどのように変わるか理解できる。 ・ 文章題等において、2次関数の最大値・最小値を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
	勉強の仕方 のポイント	予習をして授業に臨む習慣をつける。 ワークシート(問題集)等を使い必ず復習する。 授業で理解できないところはそのままにしていなくてその日のうちに理解をする習慣をつける。 課題の提出の期限は必ず守る。		

使用教科書		新数学Ⅰ 実教出版			
使用教材		新数学Ⅰ サブノート 実教出版			
指導内容 【年間授業計画】		科目 数学Ⅰ の具体的な指導目標 【年間授業計画】		評価の観点方法	予定時数
10月	4 2次関数の決定	いろいろな条件が与えられたとき、その条件を満たす2次関数を求めることができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
	2節 2次方程式と 2次不等式 1 2次関数のグラフ と2次方程式	・解の公式を用いて、2次方程式の解を求めることができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解との関係を理解することができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
	2 2次関数のグラフ と2次不等式	・2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
11月	3章 三角比 1節 三角比 1 三角比	・相似な三角形、三平方の定理について理解することができる。また、2種類の三角定規の辺の長さの比を理解することができる。 ・ $\tan A$ 、 $\sin A$ 、 $\cos A$ の意味を理解し、辺の長さの比の関係を理解することができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
	2 三角比の性質	・三角比の相互関係について理解することができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	3 三角比の拡張	・三角比で扱う角を鈍角まで拡張することの意義を理解することができる。 ・座標を用いることで、鈍角の三角比を求めることができる。 ・ $(180^\circ - \theta)$ の三角比を求めることができる。 ・鈍角に対しても鋭角のときと同様に、三角比の相互関係が成り立つことを理解できる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
12月	2節 三角比と図形 の計量 1 正弦定理	・正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
1月	2 余弦定理	・余弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角度を求めることができる。 ・三平方の定理は、余弦定理の特別な場合であることを理解できる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	3 三角形の面積	・三角比を利用して、三角形の面積を求めることができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	4 空間図形の計量	・正弦定理や余弦定理を利用して、空間図形における辺の長さを求めることができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	第5章 データの分析 1節 データの分析 1 統計とグラフ 2 度数分布表とヒストグラム	・いろいろな調査などによって得られたデータを棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフなどにまとめることができる。 ・度数分布表やヒストグラムを理解し、描くことができる。度数分布表などから、相対度数を求めることができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
2月	3 代表値	・データの平均値、中央値、最頻値の意味を理解し、与えられたデータからそれらを求めることができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	4 データの散らばり	・与えられたデータの四分位範囲や四分位偏差を求めることができる。 ・与えられたデータを5数要約し、箱ひげ図に表すことができる。 ・与えられたデータの分散や標準偏差を求めることができ、またその2つの指標の関係を理解できる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
	5 相関関係	・2つのデータを散布図に表すことができる。 ・相関関係を把握し、相関係数を求めることができる。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
3月	演習	学年末考査に向けて演習を行い、定着を図る。		発表・ノート 問題集・プリント 考查	2